









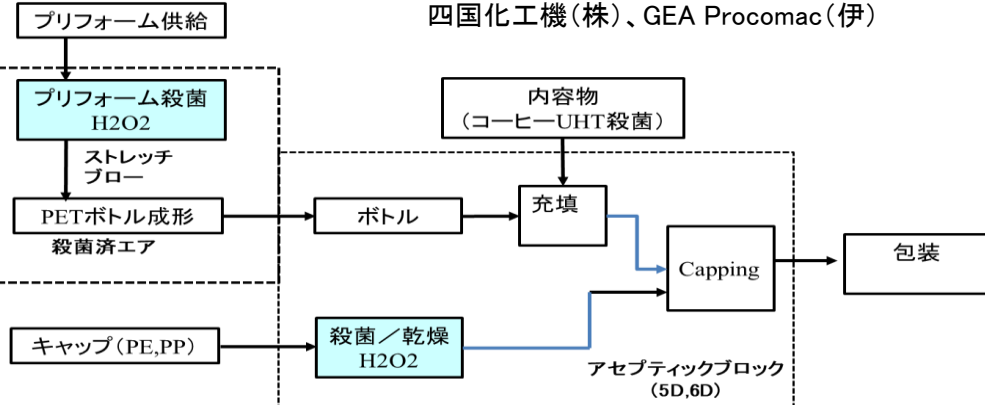


開催日時	2023年5月25日	16:00—17:30
講師	今田克己	今田包装技術企画 代表 (包装専士)
テーマ名	【パッケージングトピックス I】 環境対応や生活者の利便性、事業者からの提案など包装に関するトピック(話題)を取り上げて紹介し、ディスカッション・情報交換に繋ぐ。	出席者(敬称略・順不同) 【対面】 平田達也、清水太一、山本高之、岡美奈、堤正一(以上関西理事) 【Web】 大原勝哲、小濱博信、齋藤祐一、矢田修一郎
内容	<p>◇テーマ1「フィルムクリーニング」 内容:グラビア印刷では印刷速度100m/分、最速200m/分で大量生産でき、仕上がりも良い。しかし、印刷立ち上げの調整のときの色調合わせや見当合わせなどでロスフィルムが数百m生じることも事実である。ロスの削減技術も進歩しているが、大半は焼却処分されている。このロスフィルムの印刷インキを剥離し、無地フィルムに戻して、再び、調整用のリードフィルムに使用する技術の紹介。</p> <p>◇テーマ2「プリフォーム殺菌式無菌充填PETボトル飲料の充填システム」 内容:PETボトル入り飲料の充填は無菌充填が主流になりつつあるが、ほとんどが延伸ブロー後の容器の状態での殺菌する方法である。この度、延伸ブロー前のプリフォームの状態での殺菌を事業化した技術とメリット等を紹介する。合わせて、PETボトル成形、無菌充填包装の概要も基本情報として押さえておく。</p>	
講義の状況 (写真等)	<p>※今回は新型コロナ禍が落ち着いたので、対面+ZOOM=HYBRIDで講義をおこなった。</p> <p>●フィルムクリーニング(資料は3社)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>印刷済みフィルムを廃棄するのに多額の費用が掛かる…</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>リードフィルムを毎月大量に購入するのはもったいない…</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>廃棄するだけのフィルムをリサイクル化できたらいいのに!</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>業界としてSDGsを推進していく中で廃プラを削減する使命がある!</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  +  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>フィルムを廃棄する量が大幅に減りコストダウン!</p>  </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>50m/minで洗浄可能のため大量に再生できる!</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>洗浄後フィルムを試し刷り用フィルムやベレットとして再利用できる!</p>  </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>環境負荷が減り、SDGsの取組となる!</p>  </div> </div> <p>●プリフォーム殺菌式無菌充填PETボトル飲料の充填システム</p> <p style="text-align: right;">四国化工機(株)、GEA Procomac(伊)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ■プリフォームを殺菌することで、ペットボトルを殺菌するよりも薬剤やエネルギーの消費が少ない。 ■機械が小型化できる。(プリフォーム殺菌機が小さい。ボトルリンサーの不要化。) ■プリフォームの段階で容器を殺菌しているので、ボトルデザインの制約が少なく、ボトルの軽量化にも寄与。 	